

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2013年10月 検針分)

2013年5月～2013年7月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2013年10月 検針分の単位料金は 2013年9月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
0.2678 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 7 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2013年9月	(B) 2013年10月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	247.6782	247.9460	0.2678
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	191.2956	191.5634	0.2678

●平均原料価格

	単位	2013年4月 ～ 2013年6月	2013年5月 ～ 2013年7月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	83,940	84,400	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	83,420	81,280	
平均原料価格	円/トン	84,240	84,570	62,680

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9533 + LPG平均価格 × 0.0506

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)
= 84,570 - 62,680 = 21,800 円/トン

(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2013年10月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	228.4895	247.9460	19.4565
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	172.1069	191.5634	19.4565

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2013年9月	(B) 2013年10月	影響額 (B)-(A)
26	7,045	7,052	7

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)